

NICOが応援する企業の新たな取り組み、熱き思いにスポットを当てる！

# チャレンジの舞台裏

## 高齢者でも簡単・安全に操作できる製品を

機械、ダイレスプレス、鋼材の3事業を展開しているフジコーポレーション株式会社。同社の主力商品となっている除雪機は、国内をはじめ11カ国に輸出され、その品質と技術力は世界で高く評価されている。

一方、乗用草刈機においては、平成14年から参入し、主に海外では農園の雑草刈り、国内では果樹園の下草刈りに使用されてきた。このような中、年々他社の製品レベルも上がり、同社としても、さまざまな装備を搭載した新型乗用草刈機の開発に乗り出す。「草刈機を使うお客様は高齢者の方が多いので、簡単に、しかも安全に操作できる製品というのを主眼におきました」と、機械事業商品開発部の大島係長。そこで、平成20年度、NICOの「ものづくり支援助成金」を活用し、まずは電動刈取クラッチの開発に着手した。

## 金型とプレスの技術を結集し、理想の形状を実現

新型乗用草刈機は、曲線を多用したデザインが印象的。形状の美しさはもちろん、丸みがあることで草の中を最小の抵抗で進むことができ、果樹や樹木を傷めないでスムーズに動くことができる。「当社が持つ金型とプレスの技術を駆使して実現しました」と吉井取締役が語るように、プレス部門と何度も検討・試作を繰り返しながら、理想の形状に近づけるとともに、耐久性と作業効率の向上にこだわり、独自の成形法や技術を結集して改良を重ねた。



写真下が新型。これまでにない曲線的なデザインでスタイリッシュ。機能性・安全性も向上した。

また、ボタン1つで草刈りが可能な電動クラッチ、軽い操作力で刈る高さを選べるフリーロックレバー、前輪に絡みついた草を軽減するフェンダーなど、従来の草刈機にはなかった装備を搭載し、作業者の安全性と操作性を追求した。こうして理想を実現化したハイエンドモデルが完成し、平成21年に販売を開始。ユーザーからは、「操作がしやすい」「草刈りの時間が大幅に短縮した」といった声が寄せられている。

## 業界初の技術に挑戦。海外市場の拡大を目指す

現在は、さらに運転操作がしやすく安全な草刈機を実現しようと、業界初となるXXXXXXXXXXや悪路での走行安定性の向上を目的としたXXXXXXXXXXなど、機能の強化に向け挑戦中。今後は商品のシリーズを増やしていく予定で、ユーザーの多様な声に応えていく。

「当社は除雪機はもとより国内では後発である草刈機も海外での販売を推進してきました。国内の市場は限られますが、海外の市場は無限大。今は円高の問題もありますが、海外の販路開拓を積極的に進めていきたいと思っています」と吉井取締役。独自の技術を駆使したモノづくりで世界に挑戦する同社の今後に注目が集まりそうだ。



作業スピードが速く、長時間の作業も快適にできるとユーザーから好評を得ている新型乗用草刈機ME1017X・ME1022X。

## 斬新なデザインと操作性・安全性を追求した新型乗用草刈機を開発



「開発には結構時間を要しました。理想の形状と性能にこだわった結果です」と語る大島係長、吉井取締役、中川課長(写真右から)。

**NICO** クラブ会員 ▶ **フジコーポレーション株式会社**  
〒959-1276 燕市小池285  
TEL.0256-64-5511 FAX.0256-64-5763  
E-mail santa@e-fujii.co.jp  
URL <http://www.e-fujii.co.jp/>

## NICOのコレを活用！

平成20年度の「ものづくり支援助成金」を活用し、新型乗用草刈機の開発と試作に取り組みました。